

平成 28 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス					
教科目名	体育	担当教員	久世早苗・山本浩貴（常勤） 揖斐祐治・久保田浩史・篠田知之（非常勤）		
学年学科	4 年全学科	通 年	必修	2 単位	
学習・教育目標	(A-3) 100%				
授業の目標と期待される効果：	<p>様々な種目を通し、体力や運動能力の向上を図る。また、種目特性やルールの理解を深めることで、生涯にわたる適切な運動習慣の確立につなげる。プレー中はもちろんのこと、プレー以外でも他と協調し、協力しあう態度を育てる。</p> <p>4 年生は以下の種目より 3 種目を選択して実施する（雨天時は一部卓球に変更有）。</p> <p>①ソフトボール ②バドミントン ③サッカー ④ハンドボール ⑤バスケットボール ⑥バレーボール</p>				
成績評価の方法：	<p>各種目に共通して以下の 5 つを評価の観点とし、教員による観察評価と実技テストによって総合的に判断する。</p> <p>①自ら学ぼうとする「関心・意欲・態度」 ②運動実践場面での「思考力・判断力」 ③基礎技術や応用技術に対する「運動技能」 ④運動技能やルールに対する「知識・理解度」 ⑤チームスポーツを通して、集団における自己の役割を自覚し、戦略戦術への貢献度及び協調性について評価する。</p>				
達成度評価の基準：	<p>各種目における達成度評価の基準を以下に示す。</p> <p>①様々な運動に対して主体的に取り組むことができる。 ②自己やチームの課題に対して適切な取組みができる。 ③運動・ゲームを構成する基本技術が身についている。 ④種目の特性を理解し、実践場面で適切な判断ができる。 ⑤集団における自己の役割を自覚し、能力に応じた貢献ができる。</p>				
授業の進め方とアドバイス：	<p>練習やゲームに積極的に取り組むこと。また、練習やゲームを安全で円滑に進めるために、互いに協力し、各自の役割を果たすこと。運動するのにふさわしい服装で出席すること。</p> <p>※授業内容は、健康・安全面への配慮から、天候等により変更することがある。</p>				
教科書および参考書：	アクティブスポーツ（大修館）				
授業の概要と予定：前期	ソフトボール・ソフトテニス・バドミントンの順				A L のレベル
第 1 回：	ソフトボールの特性と基本知識、安全上の諸注意について バドミントンの特性と基本知識、安全上の諸注意について				C C
第 2 回：	基本練習（捕る・投げる・打つ）と簡易ゲーム 基本練習（各種ストローク・サービス）と簡易ゲーム				B B
第 3 回：	基本練習（捕る・投げる・打つ）と簡易ゲーム 基本練習（各種ストローク・サービス）と簡易ゲーム				B B
第 4 回：	基本練習（捕る・投げる・打つ）と簡易ゲーム 基本練習（各種ストローク・サービス）と簡易ゲーム				B B
第 5 回：	球技大会 チーム別対抗戦 （ソフトボール・ソフトテニス・サッカー・バスケットボール・バレーボール・卓球）				B
第 6 回：	体力テスト グループ測定 種目（50M 走・ハンドボール投げ・長座体前屈・上体起こし）				C
第 7 回：	体力テスト グループ測定 種目（握力・反復横跳び・立ち幅跳び・シャトルラン）				C
第 8 回：	チーム練習 リーグ戦 基本練習とダブルスリーグ戦				B B
第 9 回：	チーム練習 リーグ戦 基本練習とダブルスリーグ戦				B B
第 10 回：	チーム練習 リーグ戦 基本練習とダブルスリーグ戦				B B
第 11 回：	チーム練習 リーグ戦 基本練習とダブルスリーグ戦				B B
第 12 回：	チーム練習 リーグ戦 基本練習とダブルスリーグ戦				B B
第 13 回：	チーム練習 リーグ戦 基本練習とダブルスリーグ戦				B B
第 14 回：	チーム練習 リーグ戦 基本練習とダブルスシングルスリーグ戦				B B
第 15 回：	まとめ・授業アンケート まとめ・授業アンケート まとめ・授業アンケート				C
授業の概要と予定：後期	ハンドボール+バドミントン・ソフトボール+サッカー・バスケットボール+バレーボールの順				A L のレベル
第 16 回：	ハンドボールの特性と基本知識、安全上の諸注意について ソフトボールの特性と基本知識、安全上の諸注意について バスケットボールのルールと基本練習、リーグ戦				C C C
第 17 回：	第 球技大会 チーム別対抗戦 （ソフトボール・ソフトテニス・サッカー・バスケットボール・バレーボール・卓球）				B
第 18 回：	基本練習（各種パス、シュート）、簡易ゲーム 基本練習（捕る・投げる・打つ） バスケットボールの攻守について・基本練習、リーグ戦				B B B

第19回：基本練習（各種パス、シュート）、簡易ゲーム 基本練習（捕る・投げる・打つ）・リーグ戦 バスケットボールの攻守について・基本練習 リーグ戦	B B B
第20回：基本練習（各種パス、シュート）、簡易ゲーム 基本練習（捕る・投げる・打つ）・リーグ戦 バスケットボールの攻守について・基本練習、リーグ戦	B B B
第21回：チーム練習（オフェンス、ディフェンス）、リーグ戦 基本練習（捕る・投げる・打つ）・リーグ戦 バスケットボールのチーム練習、リーグ戦	B B B
第22回：チーム練習（オフェンス、ディフェンス）、リーグ戦 基本練習（捕る・投げる・打つ）・リーグ戦 バスケットボールのチーム練習、リーグ戦	B B B
第23回：チーム練習（オフェンス、ディフェンス）、リーグ戦 基本練習（捕る・投げる・打つ）・リーグ戦 バスケットボールのチーム練習、リーグ戦	B B B
第24回：ハンドボールまとめ ソフトボールまとめ バスケットボールまとめ	B
第25回：バドミントンの特性と基本知識、安全上の諸注意について サッカー 基本練習、リーグ戦 バレーボールの特性と基本知識、安全上の諸注意について	C B C
第26回：基本練習（各種ストローク・サービス）、簡易ゲーム サッカー 基本練習、リーグ戦 バレーボールの基本練習・リーグ戦	B B B
第27回：基本練習（各種ストローク・サービス）、簡易ゲーム サッカー 基本練習、リーグ戦 バレーボールの基本練習・リーグ戦	B B B
第28回：シングルス・ダブルスリーグ戦 サッカー 基本練習、リーグ戦 バレーボールの基本練習・リーグ戦	B B B
第29回：シングルス・ダブルスリーグ戦 サッカー 基本練習、リーグ戦 バレーボールの基本練習・リーグ戦	B B B
第30回：まとめ	C

評価（ループリック）

達成度評価項目	理想的な到達レベルの目安 (優)	標準的な到達レベルの目安 (良)	未到達レベルの目安 (不可)
①	様々な運動に対して主体的に取組み、各種目の楽しさや喜びを味わうことができる。	様々な運動に対して主体的に取り組むことができる。	様々な運動に対して主体的に取り組むことができない。
②	自己やチームの課題に対して適切な取組みや工夫ができる。	自己やチームの課題に対して適切な取組みができる。	自己やチームの課題に対して適切な取組みができない。
③	効率的な技術やゲームにおける効果的なプレーができる。	運動・ゲームを構成する基本技術が身についている。	運動・ゲームを構成する基本技術が身についていない。
④	種目の特性を理解し、プレーヤーとしてのみならず審判としてゲームの進行ができる。	種目の特性を理解し、プレーヤーとして適切な判断ができる。	種目の特性を理解できておらず、プレーヤーとして適切な判断ができない。
⑤	自己の役割を自覚し、授業の運営・チーム力の向上などに大いに貢献できる。	自己の役割を自覚し、能力に応じた貢献ができる。	自己の役割を自覚できず、能力に応じた貢献ができない。